

## 取組個票①5年間の取組全体概要

①取組名	取組08	トータルヘルスケアステーションの創設【平成26年度から取組・評価指標変更】
②対応する目標・課題	・状態維持・改善に資するサービス供給不足及び参加率の低さという課題に対し、トータルヘルスケアステーションの創設によるサービス参加者を増加させる。	
③対応する評価指標・目標値	■評価指標：トータルヘルスケアステーション施設数	■目標値：0(平成23年9月) ⇒ 柏市内に3つ設置(平成24年度～26年度) ⇒ 平成28年度までに7つの日常生活圏域(2～4の中学校区)毎に1つずつ設置
	■評価指標：柏市における要支援・要介護者への通所リハビリ事業所及び訪問リハビリ事業所のサービス	■目標値：通所リハビリ事業所：13,927件(平成22年度) ⇒ 1.5倍(平成28年度) 訪問リハビリ事業所：2,255件(平成22年度) ⇒ 1.5倍(平成28年度)
	■評価指標：サービス参加者のうち運動器ケア、口腔ケア、栄養ケアの実施者割合	■目標値：二次予防事業参加者の現在の状況 運動器29.8%、口腔8.1%、栄養1.6%(平成22年度) ⇒ 予防事業参加者のうちの実施者割合 運動器50%、口腔50%、栄養50%(平成28年度)
	■評価指標：サービス参加者の状態改善	■目標値：(定性指標のため数値目標無し)
④取組内容 健康高齢者、虚弱高齢者、要支援・要介護高齢者をすべて対象として包括的な疾病予防・介護予防サービスを提供し、地域の健康維持・リハビリサービスの高度化、効率化、浸透を図る。 ・サービスは、①虚弱高齢者、要支援・要介護高齢者に対するリハビリテーション、口腔ケア、栄養指導などのサービス、②訪問口腔ケア、③全高齢者に対する疾病予防、介護予防教育および啓発活動から構成される。 ・疾病予防・介護予防においては、運動器リハビリテーション、口腔ケア、栄養サポートのうち二つまたは全部が連動して提供されることが望ましいため、トータルヘルスケアステーションとして統合されたサービスを提供する。 ・疾病予防、介護予防教育においては、①虚弱高齢者、要支援・要介護高齢者に対する啓発を行うとともに、②健康高齢者に対しては疾病予防・介護予防に関する専門知識の習得を図り、「市民健康サポーター」として育成していく。 ・「市民健康サポーター」が、日常的に高齢者と接する中で、高齢者の状態に応じて疾病予防・介護予防拠点と繋ぎ、適切な利用を促していく。 ・「市民健康サポーター」は、自らが行うソーシャルビジネスの専門性を高めるために予防知識を習得するが、結果的に自らの疾病予防・介護予防にも役立っていく。自らの専門性を高めるという観点に立つことが、敬遠されがちだった疾病予防・介護予防の専門知識の習得動機になっていく。 <提供するサービス> ・施設内における運動器リハビリテーション、および訪問によるサービス ・施設内における口腔ケア、指導の実施、および訪問によるサービス ・施設内における栄養ケア、指導の実施、および訪問によるサービス ・「市民健康サポーター」育成プログラム ・健康維持、リハビリテーションの総合的アドバイスの提供ほか <スタッフ構成> ・リハビリ専門スタッフ：作業療法士(2名)、理学療法士(2名)、言語聴覚士(1名) ・介護職員(2名) ・歯科衛生士(2名) ・栄養士(1名) ・サポートスタッフ(元気高齢者による「市民健康サポーター」)※(20名)：サービス利用者とのファーストコンタクトや周知活動の役割を担い、施設内の専門職スタッフと連携した健康維持体制の構築をサポートする。 ※当該スタッフは、事業所雇用職員ではなく、ボランティア等の支援スタッフ		
⑤エリア 平成26年夏まで(サービス試行期間)：柏の葉キャンパス駅前148街区を中心とした柏市内 平成26年春以降(本格サービス開始)：柏市全域での健康関連イベント等に出張し、簡易体験や情報発信を行い、広く展開を推進		
⑥主体 柏市内の民間サービス事業者 (三井不動産をコーディネーターとして、柏の葉キャンパス駅前148街区でモデル事業所開設を調整中)		
⑦活用した国等の制度		
⑧地域の関与 ・千葉大学「予防医学センター」や東京大学の高齢社会総合研究機構(Institute of Gerontology)と連携し、超高齢時代におけるサービスのあり方などを検討中。 ・柏市次期介護保険事業計画 柏市の次期介護保険事業計画に、介護予防の推進を掲げる方向で現在審議会等で検討中。 ・柏市の事業関係者との情報交換 柏市医師会、柏歯科医師会、リハビリ関係者、ケアマネ協議会と情報交換を行いつつトータルヘルスケアステーション創設を検討中。		
⑨スケジュール		
23年度	トータルヘルスケアステーション開設の準備	
24年度	トータルヘルスケアステーション開設の準備	
25年度	トータルヘルスケアステーション開設の準備・サービス試行	
26年度	トータルヘルスケアサービスのモデル事業所開設(柏の葉キャンパス駅前148街区複合開発街区区内)	
27年度	柏市全域でトータルヘルスケアステーション整備を推進	
28年度		
29年度以降		
⑩他の取組との連携 取組名：元気高齢者が地域で活躍できるコミュニティ構築 ～東京大学高齢社会総合研究機構・監修～ 連携内容：ソーシャルビジネスに取り組む元気高齢者に介護予防教育プログラムを提供し、「市民健康サポーター」を育成する。この介護プログラムを通して、元気高齢者が虚弱な高齢者を対象としたソーシャルビジネスを行う上で必要な健康維持に関する専門知識を習得すると共に、自らの介護予防にも役立つ知識を習得する。「市民健康サポーター」は、日常的に行うソーシャルビジネスの中でこの専門知識を活かし、虚弱高齢者に必要な知識を繰り返し噛み砕いて説明し、あるいはサービス提供の際に役立てる。また、虚弱高齢者の状態に応じてトータルヘルスケアステーションと繋ぎ、虚弱高齢者の健康維持を図る。		
⑪自立・自律の方針・目標 健康高齢者、虚弱高齢者、要支援・要介護高齢者をすべて対象として包括的な疾病予防・介護予防サービスを提供し、地域の健康維持・リハビリサービスの高度化、効率化、浸透を図ることで、医療施設の不足や医療費増加を抑制できれば、国の補助金や税金に依存しない地域医療・介護のモデル構築が可能となる。		